



## 平成 28 年度土木学会東北支部技術研究発表会(2017/3/4)

場所：東北工業大学八木山キャンパス

参加者：アナワット准教, 佐藤助教, 山下助教, 林助手, パーノン研究員, 久松 (D2), 牧野嶋 (D1), 渡部 (D1), 大平 (M2), 平川 (M2), 長谷川 (M1), 戸川 (M1) 大竹 (B4), 馬場 (B4), 福井 (B4)

3月4日に、「土木学会東北支部技術研究発表会」が東北工業大学八木山キャンパスで開催されました。この技術発表会は、土木分野についての研究成果を発表するもので、土木学会東北支部が毎年開催しているものです。本年度は、発表者として以下のメンバーが参加しました。発表者の講演内容は以下の通りです。※下線は発表者

Suppasri Anawat : 2016年福島県地震津波の数値解析と現地調査

佐藤翔輔 : 石巻市民を対象とした災害情報の認知度および収集手段に関する調査

山下啓 : Porous Body Model による市街地を対象とした津波氾濫解析モデルの開発

林晃大 : 東日本大震災における仙台湾沿岸の建物被害実績と海岸林分布状況の相関性

Lacharote Panon : Preliminary source model of the unexpected tsunami in Snedai bay from the 2016 Fukushima earthquake

久松明史, 今村文彦, (公財)地震予知総合研究振興会 松浦律子: 円錐型断層モデルによる2011年東北地方太平洋沖地震津波の再現

牧野嶋文泰, 今村文彦: 「囚人のジレンマ」として解釈する車の津波避難問題と社会数値シミュレーションの試み

渡部真史, Volker Roeber, (一財)電力中央研究所 吉井匠, 東北大学 後藤和久, 今村文彦: 大型造波水路での巨礫移動実験とその数値モデルの検証

太平浩之, 山下啓, 林晃大, 今村文彦: 海岸林を活用した多重防御の戦略的空間設計-宮城県岩沼市を対象として-

平川雄太, 佐藤翔輔, 今村文彦: 津波碑の存在認識に関する基礎研究-岩手県陸前高田市の事例-  
長谷川夏来, Suppasri Anawat, 今村文彦, 牧野嶋文泰: 東日本大震災での建物被害に基づく推計曝露人口と人的被害の関係

戸川直希, 佐藤翔輔, 杉浦元亮, 今村文彦: 災害対応訓練を行うことによる「生きる力」の変化に関する評価

大竹拓郎, Suppasri Anawat, Lacharote Panon, 今村文彦, 長谷川夏来: 過去400年データに基づくグローバル津波ハザード評価

馬場亮太, 佐藤翔輔, 今村文彦: 住まいの再建のための復興情報に関する調査-宮城県の被災者を対象として-

福井謙太郎, 山下啓, Suppasri Anawat, 今村文彦: 東北地方太平洋沖地震津波による養殖施設・アマモ場への被害関数の推定